

OMEGA 引戸ユニット
片引・引違

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

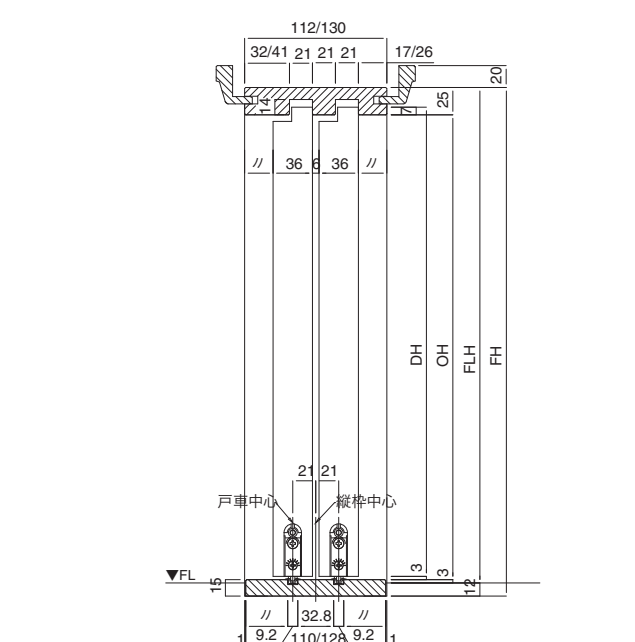
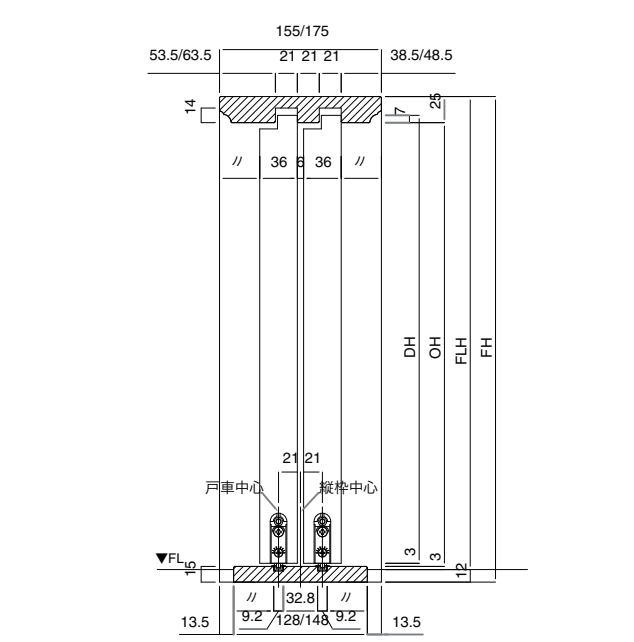
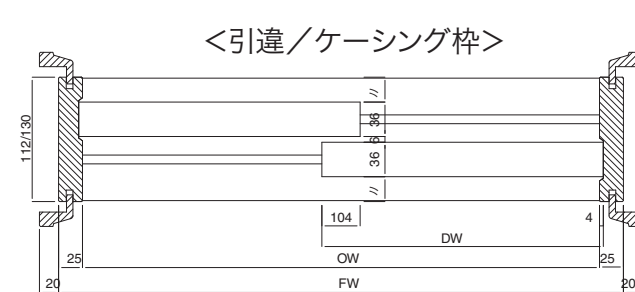
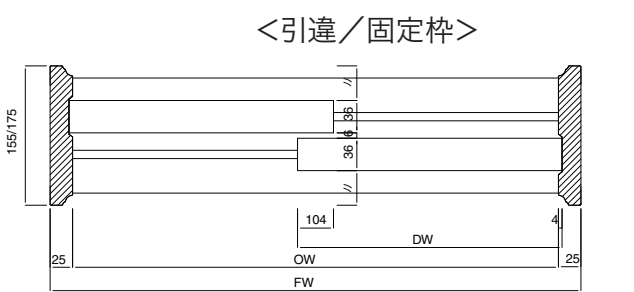
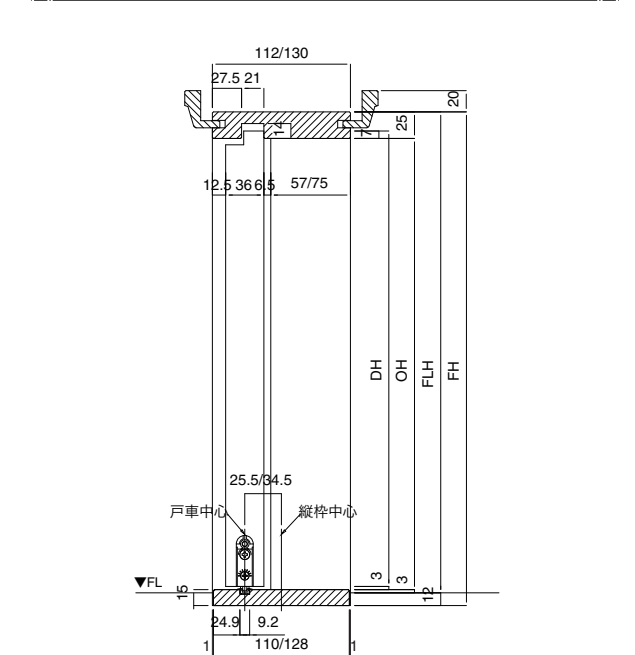
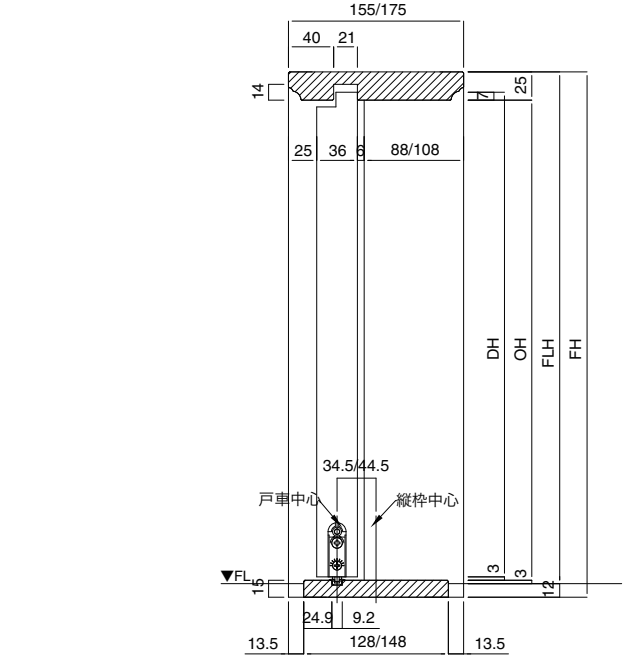
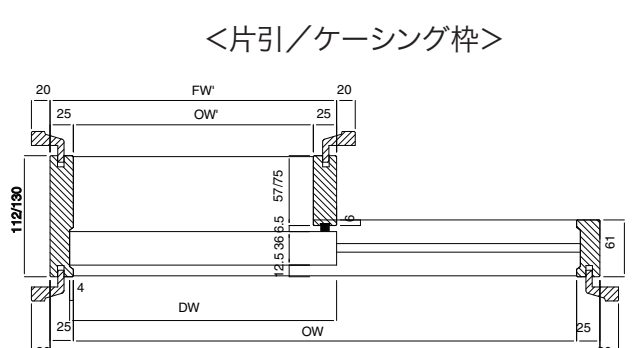
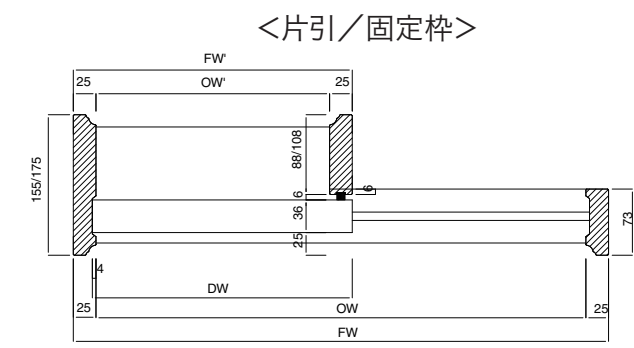
扉梱包(扉本体)		枠梱包			
片引	引違	部材名		片引	引違
1	2	①	上枠	1	1
		②	下枠	1	1
		③	縦枠	1	2
		④	戸当枠	1	—
		⑤	方立枠	1	—
		⑥	Yレール	1	2
		⑦	ケーシング	6	6
※現場にて留め加工にカットしてください。					

※ケーシングタイプは枠の形状が異なります。

※イラストは片引用です。

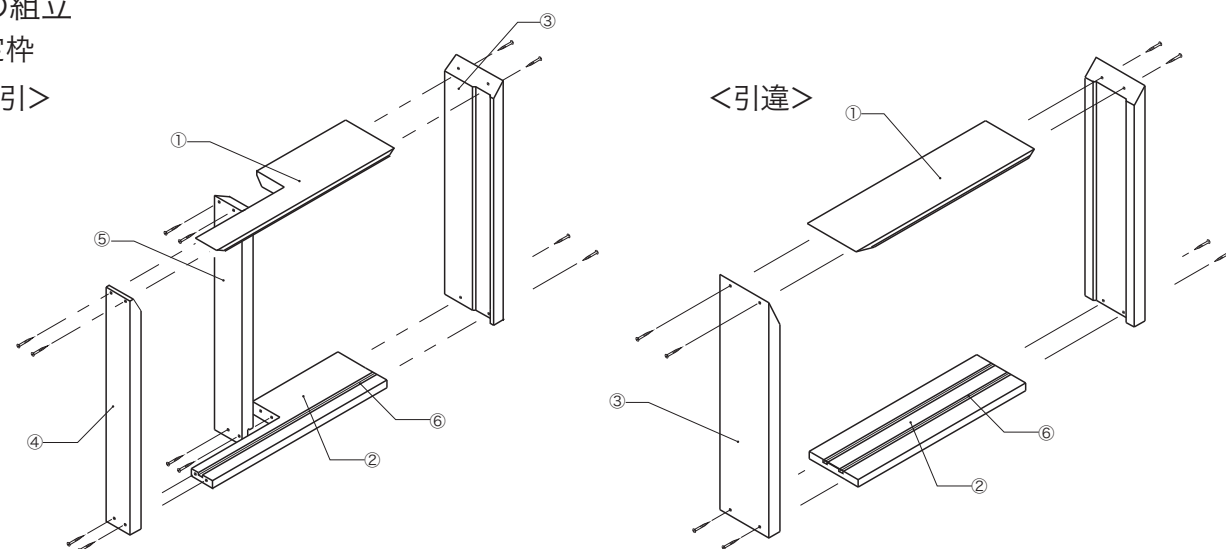
部品梱包	枠組立ビス	躯体取付ビス (キャップ付ビス)
片引	12	12
引違	8	12

枠	タイプ	枠見込 (mm)	スタンダード	
			FW (mm)	FH (mm)
三方枠	片引	(固定枠) 155・175	1650	2040
	引違	(ケーシング枠) 112・130		

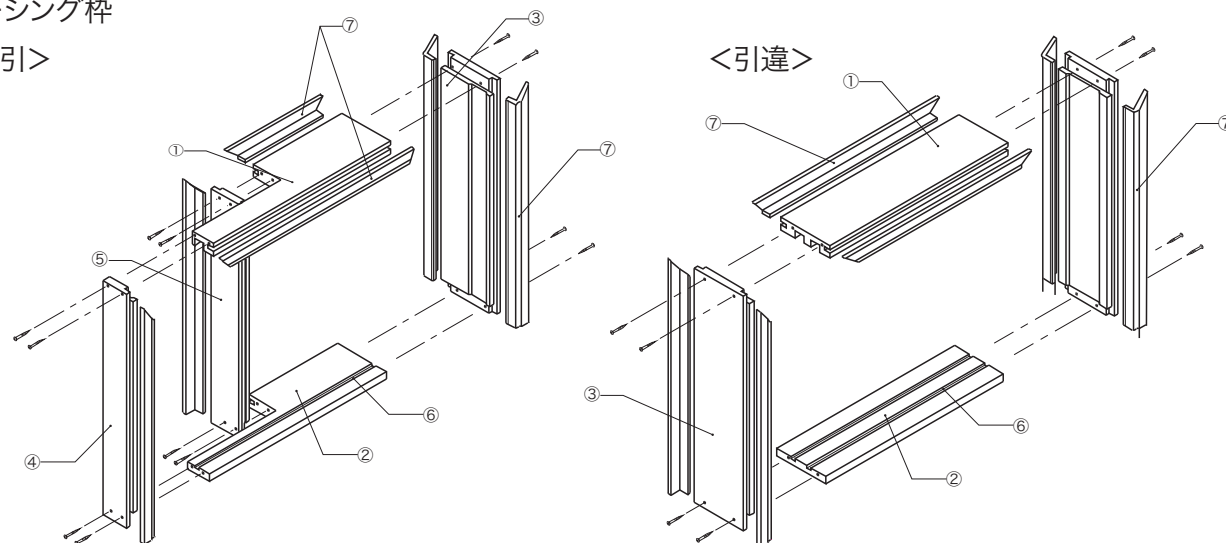


1. 枠の組立て

枠の組立 固定枠 <片引>



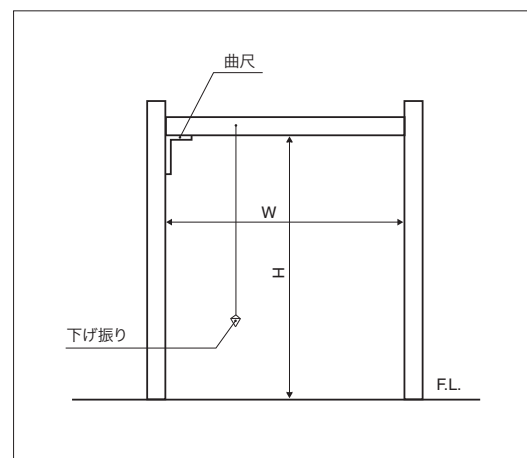
ケーシング枠 <片引>



2. 開口部の確認

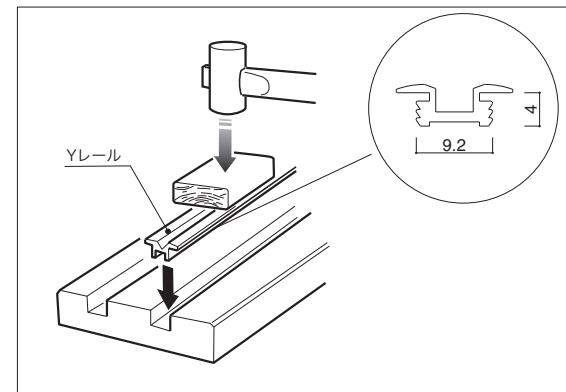
- ①引戸枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。
- ②枠の見込は固定枠(155・175mm)とケーシング枠(112mm・130mm)とケーシングの組合せにより幅広に対応できます。

※ケーシングをカットする場合は一律に丸ノコ等で塗装面からカットしてください。

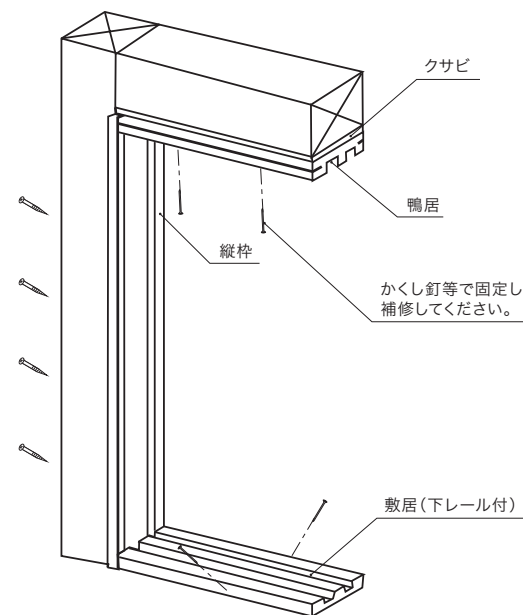


2. 枠の取付け

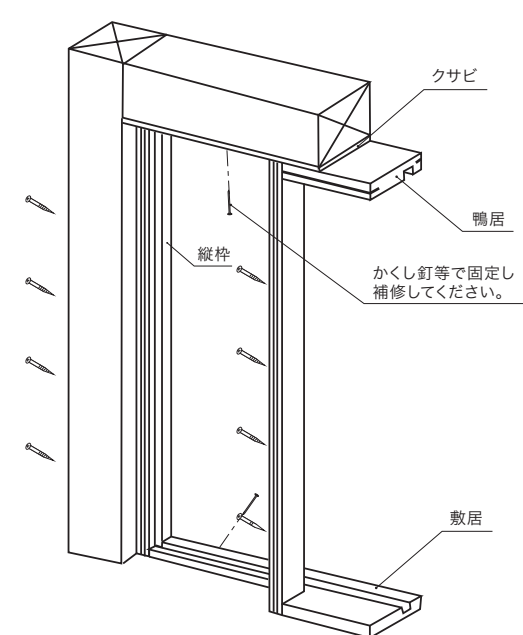
- ①枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビ等で上下・左右・前後・倒れ等を調整し位置を決めてください。
- ②鴨居は溝、敷居は木口部分より、また縦枠の固定枠は柱側、ケーシング枠はケーシング溝より、かくし釘・キャップ付ビスで躯体にしっかりと固定してください。
- ③敷居の溝に木づち等で、下レールを右図のようにたたき込んでください。



<引違>

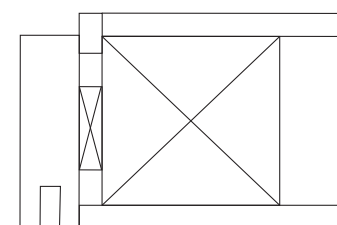


<片引>

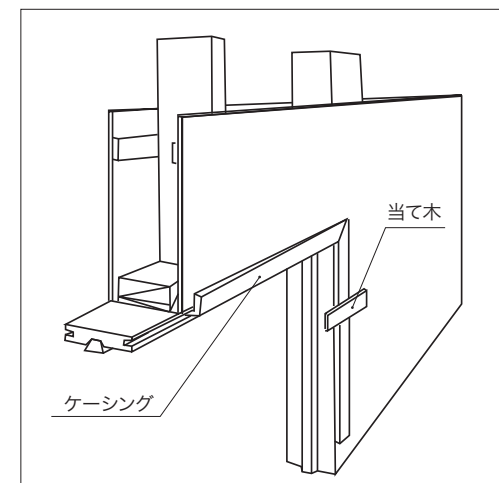


3. ケーシングの取付け(ケーシング枠タイプのみ)

- ①枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ②ケーシングを木工用ボンドで枠に固定します。
※ケーシングは接着剤が固まるまで右図のように数箇所「当て木」で押さえてください。
- ③切断加工面等を補修セットでタッチアップし、目立たないようにしてください。



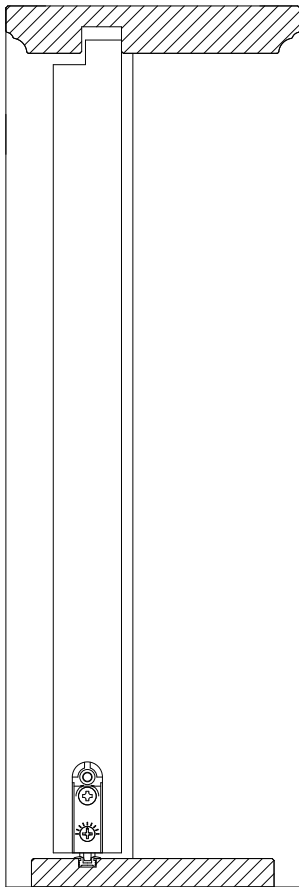
枠はボード面より2mm程度下げて取付けてください。



4. 扉の吊込み

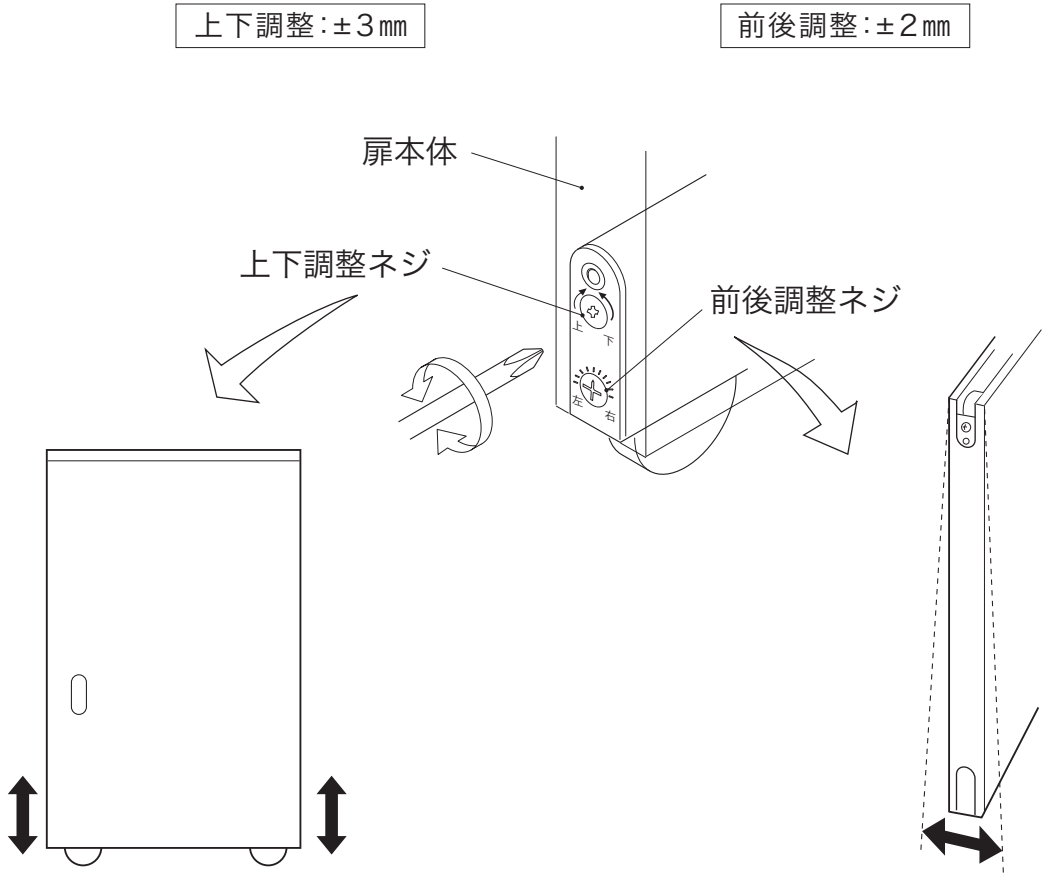
- ①扉を吊り込んでください。
 枠に扉を吊込んだのち、開閉して状態を確認してください。

注意 扉の保護のため、一度扉をはずし建築工事完了後に吊込むことをお勧めします。



5. 扉の建付け調整

- ①戸車の上下調整ネジをプラスドライバーで左右に回し、敷居と扉本体との隙間を調整してください。（右に回すと下がり、左に回すと上がります。）
 ②本体左右の戸車の上下調整ネジを適度に回して調整し、縦枠と扉本体の隙間を調整してください。（右に回すと下がり、左に回すと上がります。）
 ※本体の戸車には上下調整機能が付いています。



※戸車の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。



- 本体の鴨居へのかかりが充分か、また本体と縦枠の上部・下部のチリが均等か確認してください。本体がはずれ、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等で枠・扉の養生を行ってください。
 扉には梱包の養生マットをご使用ください。
 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
 ※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。